

まちづくり情報満載！

# あーばんとく

こうべまちづくり会館ニュース

Kobe UrbanTalk

2014年3月号(第199号)

- 「第2回神戸市都市デザイン賞」が決定しました！(P.1)
- ちいぎいと〜マチがますます好きになるご当地自慢大会〜地域集会所新築等補助制度についてお知らせします！(P.2)
- 祝\*10年 まちセン研究ネット 神戸まちづくりWS研究会③(P.3)
- まちなかニュース@住吉呉田地区/会館20周年記念イベントレポート③ほか(P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

## 「第2回神戸市都市デザイン賞」が決定しました！

神戸市都市デザイン賞は、神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物等を表彰することにより、「デザイン都市・神戸」に対する市民及び事業者の理解と意識の向上を図ることを目的として、平成23年に創設されました。第2回となる今回は、市民の皆さまから応募・推薦された「まちのデザイン部門」、「CASBEE建築部門」の候補の中から、選考委員会の選考を経て、以下の9件が決定しましたので、ご紹介します。

(都市計画総局まちのデザイン室)

### まちのデザイン部門



市民活動賞  
有馬町まちづくり活動(北区)



景観・ポイント賞  
新開地 聚楽横丁(兵庫区)



景観・ポイント賞  
(株)三ツ森 炭酸泉店(北区)



市民活動賞  
地域人材支援センター(長田区)



建築文化賞  
チャイルド・ケモ・ハウス(中央区)

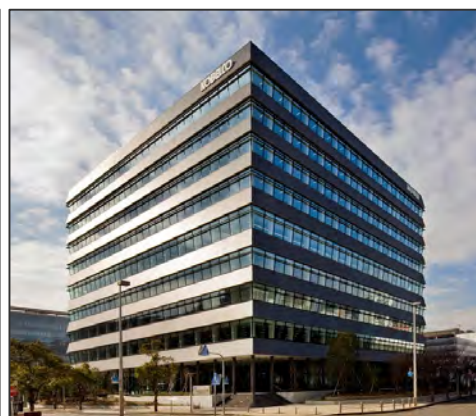


ストック再生賞  
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)(中央区)

### CASBEE建築部門



CASBEE建築賞  
神戸市立医療センター中央市民病院(中央区)



CASBEE建築賞  
神戸製鋼所本社ビル(中央区)



すまいの環境性能賞  
ヤマト住建エネージュSSE(北区)



# ちいきいと ～マチがますます好きになるご当地自慢大会～

## はじめに

イベントが終わった後には、「こんどこの場所に行ってみよう」「もうちょっと、この地域を真面目に調べてみたい。」そんなワクワク感をお届けするご当地自慢大会「ちいきいと」をご紹介します。

例えば、皆さんがお住まいのマチの『海』といえば、どんな風景を思い浮かべますか？塩屋の人は、こんな『海』を紹介されました【写真①】。塩屋は高低差が大きいマチですので、散歩をしていると色々なところから海を眺められるそうです。そんな塩屋の海の1枚です。

次に、乙仲通の人が紹介された『海』です【写真②】。どこが「海」か？というところ、この通を歩くと、『海』という名がつくお店の看板が結構見受けられるそうです。そんな乙仲通の『海』の1枚です。

「へえ～そうかあ」と、ちょっと思いませんでしたか？「ちいきいと」は、地域を愛する人たちが、あるお題にちなんだその地域ならではの写真を持ち寄り、その魅力を猛烈にアピールするご当地自慢大会です。

## これまでのあゆみ

この「ちいきいと」は、2010年12月よりこれまで8回開催しました。東灘、灘、乙仲通、入江、新開地、駒ヶ林、淡河、塩屋、垂水など神戸市内各地域だけでなく、尼崎や伊丹、芦屋からも参戦頂いています。

これまでの写真を少しご紹介します。灘の『絶妙』は、水道筋商店街のある風景【写真④】です。帽子屋の太陽と月光レコードという水道筋の太陽と月が偶然にも並んでできた!?絶妙な関係でした。

次に、入江地区の『満』と『端』です。川崎本通は、兵庫区の東端であり、中央区の西端に位置します。何故道に区境？既知の通り、昔、ここは川でした。高度経済成長期、この道は通勤する人で『満』員でした。このように一つの風景でもお題が変わると色々な歴史が垣間見ることが出来ます。

## 最後に

「ちいきいと」は、誰でもできる簡単な仕組みです。あるお題を決めて、それにちなんだ地域の写真を撮り、みんなで話す。ただそれだけです。写真を撮った人同士で話をするのも、イベントとしてお客さんの前で話をするのも、皆さま次第です。実際に、東北で地域の方々とのワークショップで活用されたというお話を下さった方もいらっしゃいます。マチを再発見する一つの手法としていかがでしょうか？

一見すると変哲のない風景でも、その背景を知ること、より愛着や魅力を感じます。さらに、地域外の方（ヨソモノ）からのツッコミで、新たな発見が生まれます。そしてイベントが終わった後は、今度行ってみよう、ちょっと地域愛が芽生える「ちいきいと」、次回第9回は、3月28日(金)19時からです！詳細はfacebook「ちいきいと」をご覧ください！

(企画調整局デザイン都市推進室)



写真① 塩屋の「海」



写真② 乙仲通の「海」



写真③ 灘の「絶妙」



写真④ 西出・東出（川崎本通）の「満」



写真⑤ 西出・東出（川崎本通）の「端」

## 地域集会所新築等補助制度についてお知らせします！

- ◆募集期間：平成26年3月3日(月)～5月23日(金)
- ◆書類提出窓口：各区役所まちづくり課・まちづくり推進課
- ◆問合せ先：各区役所まちづくり課・まちづくり推進課  
市民参画推進局市民協働推進課 322-5170

神戸市では、自治会・町内会等の住民自治組織の集会所の新築・買収・増築・改築・修繕・バリアフリー化を行う場合に、整備費の一部を助成する制度があります。なお、平成26年度より、増築・改築・修繕への補助率が2分の1へ変更となっています。

## 6. ワークショップを疑う!?

これまでの経験や仲間内での議論では、使い方によってはワークショップ (WS) であらかじめ予定された結論に導くことはそう難しいことではないだろうとなっています。それは、ファシリテータがWSのプロセスや結果に決定的な影響力を持っており、「中立的立場」ではない進行をしたり個人的な意見を進行の中に入れてしまった時に、たやすく起こることと考えられます。筆者は、催眠商法なんて、ひょっとしたらWSの手法を活用しているのではないかと考え込んだこともあります。

つまりWSが、①参加者の意見が自由に出来るようになっているのか? ②WSの主催者は参加者のどんな意見にも対応する覚悟があるのか? ③ファシリテータの進行は中立的で適正か? などの視点での検証に耐えられるかどうか問われるのです。もう少し平たく言うならば、WSの進行の中に何らかの「誘導」があるかないかをチェックする必要があります。

もう一つWSを疑う話として、その道の専門家から「WSでデザインされたものには口くなものがない。」というWSの成果を疑問視する意見があります。確かに、素人の住民が集まって意見を出し合っつくり上げるので、いわゆる洗練されたデザインでないこともあるでしょうし、専門的に見てどうかと思われるものもあるでしょう。しかし、住民はその町での生活のプロなのです。その知恵の集いで、利用者の心のこもったデザインが良くないわけがありません。

## 7. ワークショップの浸透と拡散

以上の解説は、多人数を少人数のグループにわけてワーキングを進めるスタイルをイメージしてきました。このようなWSは色々なところで実施され、今ではまちづくりの現場では常用の手法にまで浸透してきたと言えます。

十数年前はそのようなワークショップばかりでしたが、7、8年前からいくつかのバリエーションが出てきました。例えば、「ワールドカフェ」であったり「クロスロード」であったりします。前者は、小グループのメンバーがひとつのワーキングの中で入れ替わりを繰り返し、また元のグループに戻ってくるという、参加者の動きがダイナミックなスタイルです。後者は、ある一定のテーマのもとに、いくつかのシーンでの対応シレンマを深

く掘り下げる手法です。元々は防災面で開発され今では色々な分野で応用されています。これらについて紙面の都合でこれ以上お伝えすることができませんが、WSのエッセンスを多く含んだ新しい手法で、ある意味WSが進化・拡散してきたということが出来ます。

## 8. ワークショップの応用

WSは会議形式の一つであると説明してきましたが、よく行われている「会議」でも手法を活用できます。それは、「会議の見える化」です。

一般の会議は、あらかじめ作成・配布された資料を中心に、参加者各自がメモをとるようなスタイルが進められますが、参加者の発言は空気中に消えてしまい、各自のメモの内容は同じものは一つとしてありません。そこで、WSのテクニックの一つであるファシリテーショングラフィックを一般の会議に応用すると、会議の進行や内容が見えて共有の度合いが高くなります。



神戸復興塾主催 3.11 支援集会のファシリテーショングラフィック  
(2014年2月10日・東末真紀)

## 9. おわりに

WSはまだまだ進化していく手法です。私たち神戸まちづくりワークショップ研究会は、よりよいまちづくりのためにこれからも研究・研鑽を続けながら実践に取り組んでいきます。

全2回分の底本となった「WSの本」は絶版となってみなさんのお手元にお届けできませんが、こうべまちづくり会館でPDFでの公開を予定していますので、興味のある方はお問合せください。

最後に、まちづくりワークショップの基礎となるデザインゲームを開発した、ヘンリー・サノフの言葉を掲げておきます。

「デザインゲームは、キスのようなものです。それについて読むことも楽しいが、実際にやったほうがもっと楽しい。一度やってみると、もっともっとやりたくなる。」



## まちなかニュース@住吉呉田地区 「工業地域(二工区)との交流」

私たちの町『住吉呉田地区』（東灘区）と隣接し運河をはさんで南側に埋立地の工場群があります。

日頃から騒音や悪臭で困っていましたが、3年ほど前より「隣同士なのに、お互いに無関心ではダメだ」という事になり、東灘区役所に協力してもらい交流の話し合いが始まりました。

東日本大震災の津波報道を受け、津波は私たちの町に到達する前に、その南側の工業地域(二工区)を襲うことがわかりました。二工区には100基あまりの貯蔵タンク施設があり、阪神・淡路大震災のときには、翌日タンクもれて避難した経験もあり、心配でした。そこで二工区の皆さんと話し合い、二工区では約2,000人の人が毎日働いている事や、色々な施設があることがわかり、会社側のご好意で工場見学会を実施することになりました。昨年度に第1回を実施し、今年度は11月20日に十数名の参加で行い、



工場見学会の様子

どんな施設があるのか、安全のための対策がどのようになっているのが勉強しました。これからも町の安全と二工区の安全のため協力する事を確認しました。

(2014.1.5 事務局長 堀口 裕司)

## まちづくり会館20周年 記念イベントレポート③ (12月)

12月1日(日)地域まちづくり展  
「神戸新聞地音楽祭PRライブ」



新聞地のまちづくり団体と連携して、1階でのパネル等の展示と併せて、毎年5月に実施している神戸新聞地音楽祭のPRライブを会館前で実施しました。

12月15日(日)「東日本の今！」

<中高生の部>  
活動事例報告会・交流会



市内4校の中・高校生が東日本での支援活動の報告会と交流会を行いました。「この経験を多くの人に伝えてほしい」という声がありました。

<一般の部>  
講演会・パネルディスカッション



東日本大震災支援者が集い、支援状況について議論を深めました。35名の参加者からは、「活動の中身を知る機会になった」などの声がありました。

## まちづくり会館展示のお知らせ

### 1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
3/1(土) ~ 3/4(火)	橋梁模型コンテスト 受賞作品/防ごう!! 発火事故	神戸市建設局/環境局
3/6(木) ~ 3/25(火)	神戸市都市デザイン賞/兵庫区写真・絵画コンテスト入賞作品展	神戸市都市計画総局/兵庫区

### 地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
3/7(金) ~ 3/11(火)	ぐるーぶ ひらの展 <水彩>	ぐるーぶひらの
3/13(木) ~ 3/18(火)	第26回 遥洋会 油絵展 <油彩>	遥洋会
3/20(木) ~ 3/25(火)	ソフィア展 <油彩・水彩等>	ソフィア
3/27(木) ~ 4/1(火)	兵庫倶楽部 写友会 写真展 <写真>	兵庫倶楽部写友会
4/4(金) ~ 4/8(火)	もとまちハートミュージアム ドギドギ展 <油彩・水彩等>	もとまちハートミュージアム実行委員会
4/10(木) ~ 4/15(火)	丹水会展 <水彩>	丹水会



### 神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

### コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分(印刷は～5時)

電話・FAX：078-361-4565 (水曜日休館)



まちセンメールマガジン  
「せん太ちゃん通信」配信中!

お申込は、[mati3@kobe-sumai-machi.or.jp](mailto:mati3@kobe-sumai-machi.or.jp)宛に「メルマガ配信希望」の件名で空メールを送信または右のQRコードをご利用ください。



まちづくり会館では地域の取り組み等を取材してご紹介しています！  
発信したい地域の取り組み等がありましたらぜひご連絡ください！